眞松庵 SDGs への取り組み

SDGs とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは，2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された，2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され，地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。眞松庵では以下の 4 つの取り組みをしております。

1.　自然素材の建物

・木、土、紙、石、砂(浴槽)を多く建物に使用

建物には全国から厳選した唯一無二の希少な原木や自然素材を使用。
森林資源の利用を通して、脱炭素化社会を目指す。
また、自然素材を多く使用し、宿泊者に快適に過ごしていただけます。

Goal:13　気候変動に具体的な対策を
（気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる）

・省エネルギーと温熱性能

建物の温熱性能を上げ、いかにエネルギー消費を抑えるかは、今日の大きな課題です。眞松庵ではコンクリートの躯体に外断熱を施し、開口部はすべて木製の断熱サッシを用いることで高い温熱性能を確保しています。それにより居住性が高まると同時に、消費エネルギーを抑えることができます。また空気感染の恐れが無いように空調設備は各室個別方式とし、全熱交換器付きの換気扇を備えることで、効率よく十分な換気が行えるように計画しています。さらに各室の窓はすべて開けられる形式となっているため、季節が良い時には自然の風を室内に入れることができ、必要時には全面的な自然換気が可能となっています。

Goal:7　エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
（すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する）
Goal:13　気候変動に具体的な対策を
（気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる）

2.　客室内のプラスチックの削減

・客室内の全ての飲料類はプラスチックボトル以外の物を使用

客室内に備え付きのミニバーには様々なドリンクが並ぶが、
その中にプラスチックボトルを使用したものはひとつもない。
プラスチックボトルを使用しない事で、海洋プラスチックごみ等を
減らすことが出来る。

Goal:12　つくる責任つかう責任
（持続可能な消費と生産パターンを確保する）
Goal:14　海の豊かさを守ろう
（海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する）

・ハバリーズの導入

ハバリーズの価値観や活動の中核には、“持続可能な開発目標”の考え方があります。
眞松庵ではハバリーズの取り組みへ賛同し、「参加型 SDGs アイテム」として水１本からの取組みを提案しています。ハバリーズは通常のペットボトルと比較してプラスチック使用量が約 56%削減され、二酸化炭素排出量削減に貢献できます。また、地球温暖化リスクは約 40%低減されることが証明されています。また、ハバリーズ１本につき１円を世界自然保護基金に寄付されます。

Goal:12　つくる責任つかう責任
（持続可能な消費と生産パターンを確保する）
Goal:13　気候変動に具体的な対策を
（気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる）
Goal:14　海の豊かさを守ろう
（海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する）
Goal:15　陸の豊かさも守ろう
（陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る）

3.　自然に優しいバスアメニティとサステナブルな取り組み

・体にも環境にも優しいバスアメニティ『LA SOIE』

『LA SOIE』のバスアメニティは、“soie”（フランス語でシルクの意）という名前の通り、すべて天然由来の非常に希少な蚕品種「Golden silk」が生産するマユを使用した加水分解シルク（洗い流した後自然に還りやすく、体に無害なもの）を主成分としています。また、「Golden silk」のマユを使用することで、その産地であるタイの農村における環境改善への取り組みにも貢献しています。また、ボディクリームにはシアバターの種子から作られる植物性油脂を使用。本品にガーナ原産のシアバターを使用することで、ガーナの女性の収入と地位向上に貢献しています。100ml サイズの大きめのボトルには、この特別なバスアメニティを破棄することなくお持ち帰りいただき、是非ご自宅でもお使いいただきたいという想いを込めました。
また、客室に残されたバスアメニティはチェックの上、京都市ボランティアセンターを通じてシェルターや長期入院患者様のご家族の宿泊施設などに寄付していただいています。

Goal:1　貧困をなくそう
（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
Goal:5　ジェンダー平等を実現しよう
（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）
Goal:12　つくる責任つかう責任
（持続可能な消費と生産パターンを確保する
Goal:14　海の豊かさを守ろう
（海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する）

・Patagonian Salt の使用

客室のバスソルトのパタゴニアソルトは、売り上げ 1%を、このすばらしい環境を守っていくため、そして、アルゼンチン食品生産地域に住む人々の生活環境の向上や未来の子供たちの為に寄付されます。

・エコメイクの取り組み

眞松庵では、環境保護の観点により、連泊されるお客様のなかで
客室内のリネン類（ベッドシーツ、タオル類）の交換を希望されないお客様には、客室清掃時に同じリネン類を使用させていただきます。交換を希望されないお客様は、お部屋に備え付けの木製アイコンをベッドの上へ置いていただきますと、当ホテルの洗剤排水等の削減の取り組みにご協力いただけます。お客様に快適にお過ごしいただくため、3 日目以降はリネン類の交換をさせていただきます。

Goal:13　気候変動に具体的な対策を
（気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる）
Goal:14　海の豊かさを守ろう
（海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する）

4.　日本初「Giving Bag」の活用

お客様が旅の途中で不要になったものや寄付して良いものを「Giving Bag」に入れて置いて行っていただきます。それをホテルで回収し、地元のチャリティへ寄付いたします。このコンセプトはアメリカのコーネル大学ホテル学校の生徒だった Quinn Cox さんと Lilia Karimi さんの 2 人の生徒によって発案されました。

使用方法
・客室内に Giving Bag を設置する
・宿泊者は不要になったアイテムを Giving Bag に入れる
・ホテルスタッフにより回収し、集まったものを仕分けし、寄付または地域のフリーマーケット等で販売した売上金を地元のチャリティに寄付いたします。

フランス、パリのルブリストルホテルをはじめ、世界の名だたるホテルが「Giving Bag」に賛同しているなか、日本で初めて眞松庵がこの運動に参加いたします。

The Statler Hotel
OETKER COLLECTION
THE LANESBOROUGH
HOTEL DU CAP-EDEN-ROC
SIX SENSES
BRENNERS PARK-HOTEL & SPA
CHATEAU SAINT-MARTIN & SPA
LE BRISTOL
VENTANA BIG SUR
ALILA
LOU PINET

Goal:1　貧困をなくそう
（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
Goal:3　すべての人に健康と福祉を
（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）
Goal:10　人や国の不平等をなくそう
（国内および国家間の格差を是正する）
Goal:16　平和と公正をすべての人に
（持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する）